

TOSHIN Hearing NEWS

2024年12月発行

日本補聴器販売店協会が第2回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会を開催

(一社)日本補聴器販売店協会中国支部が2024年9月15日に岡山市で補聴器販売店協会支部社員と従業員及び補聴器販売従事者を対象に、第2回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会を開催しました。

午前の部は(特非)日本補聴器技能者協会の竹松知紀理事が講演し、午後の部は岡山大学病院聴覚支援センターの片岡祐子准教授と東京女子医科大学附属足立医療センター耳鼻咽喉科の水足邦雄准教授が講演しました。

竹松理事の講演は「補聴効果の確認法」で、補聴器販売店が行るべき補聴効果の確認法についての説明があり、その意義についても語られました。また、竹松理事からは認定補聴器技能者の中にも個々の技量に差があることに対し、技能者の知識・技能を評価する基準のひとつとして日本補聴器技能者協会、もしくは認定補聴器専門店に所属しているかを判断基準にすることを自身の講演で勧めているという主旨の言及がありました。片岡准教授からは「高齢者補聴器助成導入に伴い補聴器販売に求められる新規事項」をテーマに講習があり、まず講習会開催に至った経緯について説明があり、そのうえで岡山県内での高齢者補聴器助成事業の実施状況や岡山市でも2024年8月から65歳以上の中等度難聴者への補聴器購入費助成事業が始まっていること、また医療過疎地域に対する聴覚ケアとして、岡山県北部などの耳鼻咽喉科医療機関がない、もしくは少ないエリアで日本臨床耳鼻咽喉科医会岡山県地方部会の主催で自動聴力検査ができるオージオメーターを搭載した聴覚検診車を民間企業の



協力で導入し、岡山大学病院聴覚支援センターが運営していることが紹介され、高齢者難聴対策の課題や今後のビジョンについて語られました。最後の水足准教授の「補聴器適合検査における実耳測定」をテーマとした講演では、通常の補聴器フィッティングでは適合が難しかった難聴者に実耳測定を用いて補聴器の適合を行った事例が紹介され、実耳測定の有用性について語られました。水足准教授からは実耳測定がとりわけ有効なケースとして①期待した明瞭度が得られないケース②カプラ特性とファンクショナルゲインが乖離しているケース③外耳道容積が極端に少ない小児(特に乳幼児)を対象にしたケースが挙げられました。会場には協賛の人工耳内・補聴器メーカーのデモブースがあり、講習会終了後、各メーカーから自社製品の最新情報の提供がありました。

リオン(株)が「きこえノート」アプリをリリース ※Android、iPhone用



「きこえノート」アプリは、聴力検査結果をお手元で保管できるアプリです。写真を撮るだけで簡単に記録でき、過去の聴力検査結果や年代ごとの平均的なオージオグラムと結果を重ねて確認できます。また、他の医療機関に受診した際、オージオグラムを簡単に共有できます。

【主な機能】

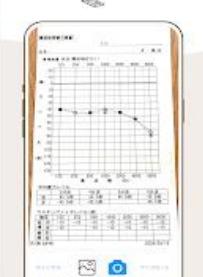
・聴力検査結果の保管

・過去の聴力検査結果との比較

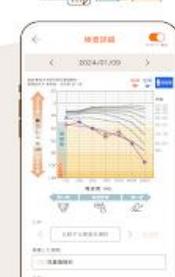
・他の医療機関へ受診した際の

オージオグラムの共有

聴力検査結果を撮影してアップロードすると、アプリに検査結果が登録されます。



検査結果を過去の結果と比較したり、年代別の平均聴力値などと重ねて確認できます。



病院が変わっても、過去の検査結果を簡単に共有できるので安心です。



目次

- 第2回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会を開催
- リオン(株)が「きこえノート」アプリをリリース
- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が難聴啓発キャンペーンを開始
- 店舗紹介

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会がACジャパン支援のもと近藤真彦さん出演の難聴啓発キャンペーンを開始

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会は耳・鼻・のどの病気に対する知識を広め、健康と福祉の向上を図る啓発活動の一環として、2024年7月1日よりタレントの近藤真彦氏を起用し聴力検査の重要性を訴えるACジャパンの支援広告キャンペーンを開始しました。2024年7月より1年間、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など全国のメディアで放送・掲載予定です。

国際的に統一した質問内容による調査（JapanTrak および EuroTrak との関連する調査）により、難聴を自覚した場合、医師に相談する率が諸外国においては 50%～80%台である一方、日本では 38%と非常に少なことが報告されており、聞こえにくくなるのは加齢だけではなく、耳垢や中耳炎など改善が可能な場合があること、加齢による難聴でも、補聴器の利用など聴覚補償への介入により認知症リスクが低減できたとする研究結果も報告されています。聞こえに不自由を感じる方に対する支援を充実させていくために、まずは耳鼻咽喉科への受診が重要であることは明白です。キャンペーンでは、「年のせい」とあきらめずに、聞こえの問題が生じたときには耳鼻咽喉科を受診することで改善の可能性があることを周知するため、「まずは聴力検査」と呼びかけています。「難聴」という言葉からは全く聞こえない状況を想像してしまう人が少ないため、「聞き返し」「聞き間違い」「聞こえにくさ」といった身近な状況を表す言葉を用いてより多くの人が問題に気付けるよう工夫されています。

店舗紹介

このたび、鳥取店、岡山店が改装、高槻店が移転新装工事を行い、皆様に快適な空間でご利用いただけるよう、リニューアルオープンいたしました。

トーション・鳥取補聴器センター 2024年6月24日 新装オープン



トーション・岡山補聴器センター 2024年8月26日 新装オープン

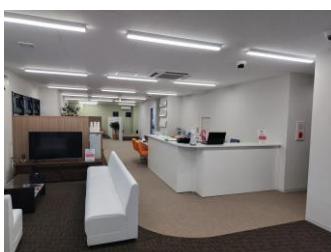


トーション・高槻補聴器センター 2024年10月17日 松坂屋高槻店南隣に移転新装オープン

住所: 〒569-0804 大阪府高槻市紺屋町 7-6 コスミティ高槻 1階

TEL 072-683-3341 FAX 072-683-7609

※電話番号に変更はございません。



【定休日及び営業時間変更のお知らせ】

このたび弊社は、従業員の労働条件改善のため、

2025（令和7）年1月より定休日と営業時間を変更いたします。

お客様及び関係各位には大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2025年1月より全店舗 定休日：日曜・祝日・第2第4土曜日 営業時間：10時～17時

※津山店のみ 10時～16時で変更なし

TOSHIN Hearing NEWS 発行元

東神実業株式会社

トーション・補聴器センター

本社：〒550-0005 大阪市西区西本町2-4-7

TEL : 06-6531-2541 FAX : 06-6531-3398

URL : <https://www.toshin-ha.co.jp/>

be heard
Toshin